

広馬場神楽舞だより

No 1 2024年1月21日発行
発行者 広馬場神楽舞保存会講長
一倉 憲一

会員を始め広馬場地内の皆様には、日頃よりご協力をいただき感謝申し上げます。聖宮神社の例大祭は毎年継続して式典を開催していましたが、令和2年からはじまったコロナ禍で令和4年まで太々神楽の活動も制約されるなど支障を期しました。

4年ぶりの令和5年10月9日に太々神楽の奉納ができ、コロナ禍前の令和1年と同様に10舞を奉納することができました。

おかげさまで舞が奉納出来たことは、保存会会員及び氏子の方々のご理解とご協力をいただき、舞師及びお囃子の継続的な練習の成果だと思えます。

また保存会舞師の高齢化に伴い令和5年に3名が退任され、舞の伝承が危ぶまれました。舞師が真剣に稽古に取り組み、以前に録画したビデオを基になんとか習得し、会員方々の協力で乗り切り、以前と同様に演目ができたことに感謝いたします。

●活動内容

「榛東村文化協会主催の伝統芸能発表会」

日時 令和6年1月21(日)午後1時

場所 南部コミュニティセンター

出演団体 神楽舞 3団体 獅子舞3団体

演目 広馬場神楽舞保存会は《猿田彦の舞》

●保存会員の募集

村内在住及び近隣在住にお住まいの方で、お神楽を踊ってみませんか？
お囃子(笛・太鼓)に興味のある方は大歓迎です。
伝統芸能に興味のある方は是非参加をお待ちしています。

●練習

月2回の定期練習、場所は聖宮神社の社務所 連絡先 ☎090-4178-6523(小川)

●令和5年度に修繕した神楽面

「八幡」



「烏帽子」



◆2面の修繕総額 三十五万円

* 県補助金 二十万円

●例大祭開催日

聖宮神社 4月15日、10月9日

黒髪神社 4月5日

●太々神楽保存会費

コロナ禍は集めていませんでしたが、令和5年より、秋季祭りのお札と保存会費一口500円を集めさせていただきました。



☆補足(神社文献より)

農耕民族の日本では、神社と農業の関係は非常に強い歴史があります。昔は地域に入ればその地域の神社の氏子に同時になることとされていました。